

九州大学大学院比較社会文化学府

平成 23 年度 授業の概要

< 注意事項 >

1. 各授業科目の内容等について、ご不明の点がございましたら、下記まで、メールかFAXでお問い合わせください。

九州大学大学院比較社会文化学府等事務部 大学院係

E-mail : hbddaiga@jimu.kyushu-u.ac.jp

FAX : 092-802-5791

2. 各授業科目の教職免許課程に関する記載は、九州大学大学院比較社会文化学府の学生が適用対象であり、他大学の学生のみなさまには適用されませんので、ご注意ください。

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	近代日本の形成と構造 (近代日本の政治と社会) . . .	担当教員 (連絡先等)	オーガスティン・マシュー augustine@scs.kyushu-u.ac.jp 092-802-5634
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .		
履修条件	特になし	単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 本授業では近現代、とりわけ第二次世界大戦以降の日本と東アジアの歴史において、以下のテーマに焦点を当てる： (1) 戦後東アジアのなかの日本史 (2) 戦争と記憶 (3) 米軍占領と基地 (4) 日本の国際史 各テーマの歴史的分析を試みるにより、戦後日本と東アジアの関連を検討する。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 東アジアにおける近現代日本史の基礎的知識習得		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 討論、発表、ゼミ報告の内容などによって評価		
学習相談の仕方等 E-mail 等で事前に予定をした上で研究室において面談	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	近現代日本、東アジア、国際史	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	近代日本の形成と構造 (前近代・近代移行論) . . .	担当教員 (連絡先等)	吉田 昌彦 092-802-5638 yoshida@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .		
履修条件	特になし	単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 前近代から近代への移行を検討する際に重要なテーマになる Nation もしくは Nation State の形成についてアンダーソンやスミスなどの基本的文献や日本における研究文献を読み、今日の Nationalism 論の諸動向を把握することとする。			
授業の進め方 演習形式	教育目標		
教科書及び参考図書 その都度指示する	試験・成績評価の方法等 平常点、試験はおこなわない		
学習相談の仕方等 講義後、もしくは日時調整を行って面談	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	前近代、近代、移行、Nation、Nation State、Nationalism	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	現代日本の形成と変容 (日本社会と科学技術) . . .	担当教員 (連絡先等)	吉岡 齊 092-802-5613 yoshioka@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
授業の概要・授業計画・学習目標 近現代日本の科学技術と社会に関連する文献(日本語、英語)を素材として、発表と討論を行う。原則として1冊のテキストを学生1人が担当し、1冊あたり2~3回程度のセッションを実施する。学生全員が毎学期発表できるようにする。取り上げるテキストについては、学生の多様な興味を尊重しつつ、学生と教員が協議して決める。目標は、近現代日本の科学技術の社会史という領域における基礎知識の習得と、この領域で語られる言説を批判的に吟味する能力を養うことに置く。			
授業の進め方 演習形式	教育目標 基礎知識の習得と、言説批判能力の養成		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 出席状況と、発表・討論への貢献度		
学習相談の仕方等 E-mail および研究室での面談	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本近現代史・科学技術の社会史	中専免(社会)高専免(公民)対象科目	

授業科目 (講義題目)	現代日本の形成と変容 (情報社会論) . . .	担当教員 (連絡先等)	杉山 あかし 092-802-5611 sugiyama@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 情報社会論に関する文献(主に英語)を取り上げ、講読と議論を行う。何を取り上げるかについては学生と協議して決める。1時間あたり学術論文1本程度の分量を読み進むこととしたい。この分野の学術論文を読みこなすための能力と知識を修得することを目標とする。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 論文講読会と情報社会論関連知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言の内容を評価する		
学習相談の仕方等 直接研究室に来て良いが、できればアポを	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	情報、社会、社会学、メディア、マス・コミュニケーション	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	現代日本の形成と変容 (現代社会の構造) . . .	担当教員 (連絡先等)	直野 章子 092-802-5619 anaono@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
授業の概要・授業計画・学習目標 現代社会文化理論(言語分析、記憶論、ポストコロニアル理論、フェミニズム、イデオロギー論など)を参照しつつ、「差異」「不平等」「暴力」などをキーワードにしなが、現代社会について考察する。セミナーでは、日本語・英語の学術書籍や論文を読み込みながら、ディスカッションしていく。			
授業の進め方 セミナー形式	教育目標 現代社会文化理論の知識を習得し、自分の言葉で語れるようにする		
教科書及び参考図書 最初の授業で指定する	試験・成績評価の方法等 報告・セミナーへの貢献		
学習相談の仕方等 事前のアポイントを取って研究室にて	その他・主な使用言語 英語の文献を読むことが必須、セミナーでは積極的な発言を求めます。本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	社会理論、文化理論、カルチュラル・スタディーズ	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	言語と文芸 (日本近代文学) . . .	担当教員 (連絡先等)	波瀧 剛 092-802-5631 tnamigata@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 近年の文学理論の動向をふまえつつ、「越境」という視点から、近代文学のテキスト読解を試みる。具体的な文献に関しては学期のはじめに決める。 学生各自が論文作成の基礎となる方法や概念、執筆の手がかりとなる視点を獲得する。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 学術論文等の読解力を養う		
教科書及び参考図書 講義の際、適宜指示する	試験・成績評価の方法等 報告と討論の内容によって評価する		
学習相談の仕方等 事前にアポイントを取ってほしい	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	文学、近現代	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	言語と文芸 (現代日本文学) . . .	担当教員 (連絡先等)	松本 常彦 092-802-5632 tmat@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 注釈による日本近代文学作品の読解。 今年度から四年計画で、戦時下の福岡を描いた作品の全注釈を完成する計画。 研究誌(「九大日文」など)に注釈の成果を継続的に掲載する。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 近代文学作品を注釈する足腰の養成		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 レポート(注釈作業の報告)		
学習相談の仕方等 毎授業時間前後	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	注釈、戦時下の福岡、日本近代文学	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	言語と文芸 (比較文学) . . .	担当教員 (連絡先等)	西野 常夫 092-802-5642 nishino@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .		
履修条件	特になし	単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 題目 文学研究動向研究 学会誌(「日本近代文学」「比較文学」その他・主な使用言語)掲載の諸論文を読む。			
授業の進め方 各自が専門テーマに近い研究論文を選び、内容について報告し、議論するゼミ方式	教育目標 最近の研究動向を知り、さまざまな研究テーマ・方法に対応できる能力の養成をめざす		
教科書及び参考図書 授業時に説明する	試験・成績評価の方法等 平常点		
学習相談の仕方等 研究室で相談を受ける	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本近代文学、比較文学	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	法と思想 (現代人権論)	担当教員 (連絡先等)	施 光恒 092-802-5624 se@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 前期・後期ともに、リベラリズム(自由と人権、平等、民主主義など)あるいは、ナショナリズム(国民国家やナショナル・アイデンティティの形成などの現象やそれらを取り巻く諸理念)に関する政治理論的・哲学的文献を読み進めていく。前期は日本語の文献を、後期は英語の文献を、主に用いる。政治理論の基本概念を使った議論や考察ができるようになることが目標である。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 文献講読の機会と政治理論分野の基礎知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言の内容を評価する		
学習相談の仕方等 E-mailなどで連絡をください	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	自由民主主義、人権、政治学、ナショナリズム、文化	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	法と思想 (日本政治思想史)	担当教員 (連絡先等)	清水 靖久 092-802-5625 shimizuy@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 日本政治思想史の重要文献を読みながら、政治思想の諸問題について考え、論じあう。何を読むかは、参加者の関心に依りて決める。日本の政治と思想の歴史を理解すること、文献を読んで考える力、論じる力を身につけることを目標とする。			
授業の進め方 演習形式	教育目標 日本政治思想史の理解、文献の読解と議論		
教科書及び参考図書 杉田敦編『丸山眞男セレクション』(平凡社)など	試験・成績評価の方法等 報告によって成績を評価する		
学習相談の仕方等 研究室で随時相談に応じる	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本、政治思想、歴史、自由主義、民主主義、暴力	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	地域の構造と政策 (産業地域政策論)	担当教員 (連絡先等)	阿部 康久 092-802-5630 abeya@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 主に経済地理学分野を中心に、受講者にとっての母語以外の言語(ただし、日本語、英語、中国語のうちどれか)で書かれた文献を選び、内容を紹介してもらう。講読する文献は、受講者の希望に合わせるが、もし希望がない場合は NEIL M. Coe, Philip F. Kelly and Henry W.C. Yeung: 2007. ECONOMIC GEOGRAPHY. を輪読することも考えている。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 経済地理学の外国語論文を読めるようになること		
教科書及び参考図書 受講生と相談して決める	試験・成績評価の方法等 報告の有無とその内容によって決める		
学習相談の仕方等 事前にアポを取ることが望ましいが、いるときならいつでも可	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	経済地理学、中国、産業立地	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	地域の構造と政策 (都市政策論) . . .	担当教員 (連絡先等)	山下 潤 092-802-5640 yamasita@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 地域構造に留意し、都市の持続可能性に着目した、各種の都市構造・政策や都市解析や都市政策策定支援ツールに関する文献を用いて、演習形式で授業をすすめる。授業を通じて、都市の現状と都市政策・計画理論ならびに都市解析・都市政策支援ツールに関する理解を深めることを目的とする。			
授業の進め方 教科書や関連文献の講読と、討議を通じた演習形式ですすめる		教育目標	都市構造・政策やこれらと関連した都市解析・都市政策支援ツールに関する理解を深める
教科書及び参考図書 教科書に関しては、第1回のガイダンスの際に、参考文献に関しては講義中に適宜紹介する		試験・成績評価の方法等	出席状況、討議への参加、報告書の提出等により、総合的に評価する
学習相談の仕方等 講義中等で適宜受け付ける		その他・主な使用言語	都市地理学、都市計画論、都市政策論の基礎的な理論を理解していることが望ましい。なお本講義は主として日本語により授業を行う。
キーワード(検索用)	地域構造、都市構造、都市政策、都市の持続可能性		

授業科目 (講義題目)	地域の歴史と社会 (近世地域社会史論) . . .	担当教員 (連絡先等)	高野 信治 092-802-5635 takano@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 近世日本の国制と社会構造を、地域を射程にいれながらトータルに検討することを目標とする。具体的な方向・内容は参加者と話し合いながら決めてゆきたいが、基本的には話題性のある問題提起的な論文や史料などを、方向性(テーマ)にしたがって選択し講読、議論を進めることになる。			
授業の進め方 演習形式で報告者による発表と議論による		教育目標	テーマに即した論文・史料の講読・分析力の養成
教科書及び参考図書 随時示し資料(論文・史料など)は配布する		試験・成績評価の方法等	報告と発言・議論の内容による
学習相談の仕方等 随時受け付ける(事前連絡をお願いする)		その他・主な使用言語	本講義は主として日本語により授業を行う。
キーワード(検索用)	国家、政治、社会、意識、世界観	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	地域の歴史と社会 (都市化と地域集団) . . .	担当教員 (連絡先等)	三隅 一百 092-802-5612 kmisumi@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 各種の統計資料、制度・政策資料、メディア記事、既存の社会調査資料などの二次資料を活用して、二次分析の方法論を展開しながら、地域の特性と変動過程を比較分析する。 . . . では資料探索と分析視点を中心に議論し、 . . . では分析法と実際の分析を中心に進める。			
授業の進め方 学生の報告とそれにもとづく議論、および情報調査室での演習を中心に進める		教育目標	質的二次分析の一定の修得が目標
教科書及び参考図書		試験・成績評価の方法等	平常点およびその都度の課題レポート
学習相談の仕方等 随時		その他・主な使用言語	専門社会調査士資格の認定科目である。なお、本講義は日本語及び英語により授業を行う。
キーワード(検索用)	質的データ、二次分析、専門社会調査士	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	先史集団論	担当教員 (連絡先等)	田中 良之 092-802-5644 tanak@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 考古資料として人骨を用いるための基礎的知識と方法を講義・演習型式で習得させる。具体的な人骨の調査事例を取り上げながら、そこからいかにして考古学的・歴史的情報を引き出しうるのかを毎回議論する。それによって、人骨を考古資料として活用する理論的背景と方法の基礎的理解を理解し、骨考古学の文献を批判的に読解できるようにする。			
授業の進め方 講義・演習型式併用	教育目標 人骨研究法の修得を通じた学際的アプローチの理解		
教科書及び参考図書 授業中に随時提示する	試験・成績評価の方法等 平素+レポート		
学習相談の仕方等 教員研究室および基層構造研究室にて	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	古人骨、考古学、骨考古学、先史学	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	社会考古学	担当教員 (連絡先等)	溝口 孝司 092-802-5626 mizog@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 考古資料を遺した過去の人々の社会、それを分析・研究し、それについてコミュニケーションする今日の我々の社会。これら<社会>に照準して、個々人の思考・行為と<社会>との関係性を、考古学という学的領域においていかに探求可能か?本ゼミでは、このことについて、オリジナル講義とディスカッションを通じて深め、身につけてゆく。講義・ディスカッションは基本的に英語でおこなうが、必要な場合には、日本語で補足し、理解の助けとする場合もある。			
授業の進め方 講義+discussion	教育目標 社会考古学の基礎と応用について、その先端にふれつつ習得すること		
教科書及び参考図書 随時指示する	試験・成績評価の方法等 平素+レポート		
学習相談の仕方等 appointmentによる相談を受け付ける	その他・主な使用言語 本講義は主として英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	社会考古学、方法、理論、実践	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	環境と人類	担当教員 (連絡先等)	佐藤 廉也 092-802-5627 rsato@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 文化・行動地理学、文化生態学、行動生態学、生態人類学を中心とする諸分野の文献を題材とし、人間社会の動態を環境適応との関係において把握する方法を学ぶ。 具体的なテーマとしては、生業社会の食糧獲得活動、集落動態、人口生態学、親族と婚姻、攻撃性と戦い、性差、文化の伝達、遊動と定住化などの問題を順次とりあげ、人間行動をより基層的な部分から理解することをめざす。			
授業の進め方 文献の輪読と討論による	教育目標 専門分野の最先端をつかむ力を身につける		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と討論の内容を評価する		
学習相談の仕方等 まずはE-mailにて連絡して下さい	その他・主な使用言語 当分野に興味を持つ博士課程学生の参加も歓迎する。 なお、本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	環境史、人類史、行動生態学、地理学	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	自然人類学 . . .	担当教員 (連絡先等)	中橋 孝博 092-802-5643 nakahgsc@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 生物としての人間を研究対象とする自然人類学の立場から、化石や出土古人骨をもとに、人類の起源や進化、あるいはヒトと社会や自然との関わり合い等に関して考察を加える。毎回、論文一本程度の分量を読みこなし、新知見の学習と同時にその内容をわかりやすく発表する方法、技術の習熟を目標とする。			
授業の進め方 英語文献の輪読、総合討論	教育目標 自然人類学の最新知見の学習		
教科書及び参考図書	試験・成績評価の方法等 授業中の発表、討論内容		
学習相談の仕方等 必要に応じて研究室で行う	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	自然人類学、人類進化、古人骨	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	階級社会形成論 . . .	担当教員 (連絡先等)	岩永 省三 092-642-4294 iwanaga@museum.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件	特になし	単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 階級社会形成に関わる以下の諸問題 ~ に関わる重要文献を精読する。 理論的問題 日本における階級社会形成過程の具体的様相 古代都市論			
授業の進め方 文献の講読と問題点の議論	教育目標 学史とその到達点、問題点を熟知する		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告・発言の内容による		
学習相談の仕方等 直接研究室(箱崎)に来て良いがアボが必要	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	階級社会、国家、古代都市	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	歴史資料学 (記録史料論) . . .	担当教員 (連絡先等)	中野 等 092-802-5636 nakano@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 歴史学研究の基本である史料操作を実践する。地域に遺る歴史資料(くずし字で書かれた原史料や資料集などのかたちで活字化されたもの)を対象として具体的な分析をおこない、史料分析のスキルを身につけていくと同時に日本の近世社会の特質について究明していく。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 歴史学(とくに日本史)研究の基本である史料分析を体得できること		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 ゼミ報告や質疑の内容などによって評価		
学習相談の仕方等 E-mail等で事前に予定を調整した上で研究室において面談	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本史、歴史資料、古文書	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	歴史資料学 (資料解析論) . . .	担当教員 (連絡先等)	服部 英雄 092-802-5637 hatt@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		単位数
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 歴史はさまざまな資料(史料)から構成される。文献、考古史料、地名、気象、地形、など人間が残したものや、歴史状況など、あらゆるものが手掛かりになる。その逐一を吟味し、批判して史料として生かしていく。その方法論をともに学びたい。			
授業の進め方 史料講読、発表による	教育目標		
教科書及び参考図書 そのつど指定	試験・成績評価の方法等 平常点		
学習相談の仕方等 E-mail、面談など随時	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	歴史資料、文献、考古史料、地名、気象、地形、吟味、批判	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	自然資料学(生物資料解析論) . . .	担当教員 (連絡先等)	三島 美佐子 092-642-4298 mishima@museum.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		単位数
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 種生物学は、生物に蓄積された様々な生物学的バックグラウンドの解析から、生物が分化・多様化してきた道筋を理解する学問である。ここでは、その解析に必要な種生物学の基礎、地理的分析手法の習得を目標とし、実習を交えて講義を進める。授業をとおして、プレゼンテーションおよび科学コミュニケーションのスキルアップも図る。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 生物地理・種生物学の基礎的知識、プレゼンおよび科学コミュニケーション技術の習得		
教科書及び参考図書 適宜紹介する	試験・成績評価の方法等 出席、発表内容、習熟度による総合評価		
学習相談の仕方等 E-mailにて連絡を受け、適宜対応	その他・主な使用言語 本講義は日本語及び英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	種生物学、生物地理学、科学コミュニケーション		

授業科目 (講義題目)	自然資料学(生物資料解析論) . . .	担当教員 (連絡先等)	楠見 淳子 092-802-5649 jkusumi@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		単位数
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 分子系統学は DNA 等の分子に蓄積された情報の解析から生物の進化、多様化してきた道筋を理解する学問である。ここでは、その解析に必要な分子進化学の基礎、系統樹推定の統計的手法の習得を目標とし、実習を交えて講義を進める。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 分子系統、分子進化の基礎的知識の習得		
教科書及び参考図書 適宜紹介する	試験・成績評価の方法等 出席、発表内容による総合評価		
学習相談の仕方等 まずは E-mail にて連絡してください。適宜対応します。	その他・主な使用言語 本講義は日本語及び英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	分子系統学、分子進化学		

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	自然資料学 (地殻物質解析論)	担当教員 (連絡先等)	小山内 康人 092-802-5660 osanai@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>各種鉱物およびそれらから構成される岩石のもつ様々な自然情報を、正確・精密に収集・解析する能力を習得することを目的とする。前期には、記載分類法・情報収集法・先端的機器分析法などについて講義し、文献紹介等で最新の知見を習得する。後期には、野外調査・分析試料作成・機器分析・データ解析を実習する。</p>			
<p>授業の進め方</p> <p>講義・実習からなり、休暇時間を利用する部分がある。鉱物及び岩石などの地球構成物質から見た自然現象の総合的な判断力を育成する。</p>		<p>教育目標</p> <p>地球構成物質について、総合的に理解する</p>	
<p>教科書及び参考図書</p> <p>適宜、指示する</p>		<p>試験・成績評価の方法等</p> <p>出席・参加状況等による総合評価</p>	
<p>学習相談の仕方等</p> <p>研究室において面談</p>		<p>その他・主な使用言語</p> <p>本講義は日本語及び英語により授業を行う。</p>	
キーワード(検索用)	地殻物質, 最先端分析, 地球史, テクトニクス		

授業科目 (講義題目)	自然資料学 (生物資料情報論)	担当教員 (連絡先等)	館 卓司 092-802-5645 tachi.takuji.231@m.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>節足動物は地球上のほとんどの場所で見られ、形態的にも生態的にも多様に富んでいるグループの一つである。特に、ほとんどの昆虫類は陸上生活に適応している。この授業では、昆虫類を中心に節足動物の分類・系統に関して理解することを目的とする。形態の基本構造、相同性の決定や塩基配列のアライメントなど系統推定に関する基本的知識や分子進化に関する方法論を学習する。</p>			
<p>授業の進め方</p> <p>ゼミ形式</p>		<p>教育目標</p> <p>昆虫類の分類・系統学のための基礎的知識を習得する。</p>	
<p>教科書及び参考図書</p> <p>特になし</p>		<p>試験・成績評価の方法等</p> <p>出席および発表内容等で総合評価する。</p>	
<p>学習相談の仕方等</p> <p>特になし</p>		<p>その他・主な使用言語</p> <p>本講義は日本語及び英語により授業を行う。</p>	
キーワード(検索用)	昆虫、分類・系統、進化、形態学、分子系統学		

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	産業経済論 (産業政策分析) . . .	担当教員 (連絡先等)	堀井 伸浩 092-642-2467 horii@en.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特に設定しない		
授業の概要・授業計画・学習目標 前期：授業の前半において産業経済論の概要について教員が講義を行い、それを踏まえて、後半においては履修者がそれぞれ個別具体的な産業を選択し、産業経済論、特に産業組織論の分析枠組みに沿ってその産業に関する分析を行う演習方式で授業を進める。演習で分析するのは中国の産業であるが、日本を始めとする外国との比較を通じて客観的な分析を行う。講義を聞くだけでなく、自ら資料を渉猟し、データを集めてプレゼンテーションする必要があるため、積極的な授業への参加態度を求める。 後期：世界各国の産業構造を規定する諸要因、また中国の経済発展に伴う産業構造の変容について、文献を輪読して理解を進める。具体的には、 Paul Gregory and Robert Stuart [2004] <i>Comparative Economic Systems in the Twenty-first Century</i> , Boston: Houghton Mifflin Company、 岩崎一郎・鈴木拓 [2010] 『比較経済分析 - 市場経済化と国家の役割』 ミネルヴァ書房、 中兼和津次 [2010] 『体制移行の政治経済学 -なぜ社会主義国は資本主義に向かって脱走するのか』 名古屋大学出版会などの文献を想定している。			
授業の進め方 履修者の発表・討論による演習方式で進める。詳しくは上の「授業の概要」を参照	教育目標 産業構造分析の分析手法を実践的に習得する。		
教科書及び参考図書 「授業の概要」参照	試験・成績評価の方法等 出席・発表・討論への参加状況により評価		
学習相談の仕方等 事前に E-mail にて appointment を取得すること。	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	産業構造、産業分析、中国		

授業科目 (講義題目)	産業経済論 (産業経済分析) . . .	担当教員 (連絡先等)	北澤 満 092-642-2491 kitazawa@en.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
授業の概要・授業計画・学習目標 近現代日本の産業史・経済史に関する基礎的な文献を輪読する。当該期における経済構造、産業構造全般の理解を目標とする。 また、史料収集、およびその解釈についても、適宜実習を行っていく予定である。			
授業の進め方 演習形式	教育目標 日本経済史・産業史に関する基礎的な知識の習得。		
教科書及び参考図書 受講生と相談の上、決定する	試験・成績評価の方法等 出席(40%)、報告内容、議論への参加(30%)、レポート(30%)		
学習相談の仕方等 Office Hour は月曜 13 ~ 15 時。その他・主な使用言語の場合は、E-mail で appointment をとること。	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	産業史、経営史、経済史		中専免(社会)高専免(地歴)対象科目

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	産業経済論 (経済構造分析) . . .	担当教員 (連絡先等)	関 源太郎 092-642-2496 seki@en.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 授業の概要： 前期 - 市場経済社会の形成以来、経済学が育んできた経済学的思考を欧米の主要な経済学者の学説の再構成を通じて検証する。特に焦点が当てられるのは、彼らが直面した歴史的問題をいかに思想的・理論的に打開しようとしたか、こうした営為がいかなる学説史的意義を持つかという点である。 後期 - 「学的体系」としての経済学は18世紀のスコットランドで誕生したと言われている。その「経済学」の哲学的基礎を18世紀のスコットランドの「哲学」の展開のなかを探り、社会科学としての「経済学」の意味について再考する。 授業計画： 前期 - 1.授業のガイド 2~3.重商主義と重農主義 4~6.古典派 7~8.歴史学派 9~10.新古典派 11~13.20世紀の経済学 14.授業のまとめ 後期 - 1.授業のガイド 2~5.啓蒙期への導入：G.カーマイケル、G.ターンブル、F.ハチスン 6~8.D.ヒューム、 9~11.A.スミス、12~14.コモンセンス派：H.ケイムズ、T.リード、D.ステュアート、15.まとめ 学習目標： 前期 - 経済学的思考の多様性とその歴史的意味を理解する。 後期 - 「経済学」の哲学的基礎を再考し「経済学」研究の意義を確かめる。			
授業の進め方 演習方式	教育目標 前期 - 経済学的思考の多様性とその歴史的意味との理解を促進する。 後期 - 「経済学」の哲学的基礎に関する学習を通じて「経済学」研究の意義の理解を促進する		
教科書及び参考図書 前期 - 高哲男編『自由と秩序の経済思想』名古屋大学出版会 後期 - A. Broadie, <i>A History of Scottish Philosophy</i> , Edinburgh U.P., 2009.	試験・成績評価の方法等 平素の成績(50%)と課題レポート(50%)による総合評価		
学習相談の仕方等 随時相談に応じる。ただし、あらかじめE-mailにより予約を取ること。	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	市場経済 経済思想 経済学の哲学的基礎	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	比較考古学 . . .	担当教員 (連絡先等)	辻田 淳一郎 092-642-4149 tsujita@lit.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
授業の概要・授業計画・学習目標 日本列島の弥生～古墳時代社会を理解する視点を得ることを目的として、欧米の考古学・人類学の研究成果を検討する。同時に、それを通じて考古学を含めた人文・社会科学全般における同時代的学問状況と問題意識についても理解を深める。			
授業の進め方 受講者の発表と討論形式で行う	教育目標 個別の考古学的実践をより広い視野で相対化する能力の涵養		
教科書及び参考図書 適宜指示する	試験・成績評価の方法等 授業中の発表と討論による		
学習相談の仕方等	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	考古学、人類学、比較、物質文化、社会進化、儀礼	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	東アジア考古学	担当教員 (連絡先等)	宮本 一夫 092-642-2388 miyamoto@lit.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件	なし		
授業の概要・授業計画・学習目標 2010年度に出版された中国語、韓国語、英語、ロシア語などの外国学術雑誌や書籍を読み、その内容を紹介するとともに、学史的な位置づけを行う。このことにより、その専門分野における研究上の問題設定を可能としよう。対象分野は東アジアの先史から古代にかけてである。			
授業の進め方 受講生の発表形式	教育目標 上記の学習目標を達成する		
教科書及び参考図書 なし	試験・成績評価の方法等 平素の成績		
学習相談の仕方等 随時	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	東アジア考古学	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	地域産業発展論	担当教員 (連絡先等)	宮地 英敏 092-642-2508 miyachi@lib.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 戦後日本の高度経済成長期を対象として、生産現場の様子、都市や農村の変化、景気循環、財政金融政策、産業政策、通貨危機と石油危機による高度成長の終焉などに関してテキストを読み進めていく予定である。			
授業の進め方 ゼミ方式	教育目標 近現代日本経済に関する洞察を深める		
教科書及び参考図書 石井寛治他編『日本経済史5 高度成長期』他	試験・成績評価の方法等 報告と discussion に基づいて評価		
学習相談の仕方等 直接来ても良いが、appointment を取るのが確実	その他・主な使用言語 箱崎キャンパスで開講する。本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	産業集積、中小企業、経済史、経営史	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	産業経済論 (資源・エネルギー問題、環境問題)	担当教員 (連絡先等)	三輪 宗弘 092-642-2506 miwa@lib.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 先行研究(経営史、戦時経済)を批判的に読み、一次資料から如何に論文を組み立てていくのかという点を学び修得する。問題の所在をつかみ、自己の研究の問題点を明確にする。 経済史でよく使われるデータの分析に優れた論文を取り上げ、その手法を学習する。 論文を書く能力を高めるために、小論文の添削指導(400×5枚 2回全員提出)を行なう。			
授業の進め方 輪読・討論	教育目標 先行研究を批判的に読む能力の涵養		
教科書及び参考図書 テキストは開講時に指定する	試験・成績評価の方法等 報告と研究意識		
学習相談の仕方等 来室前に appointment を取ると確実です	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	戦時経済、太平洋戦争、米国戦略爆撃調査団、航空機用ガソリン	中専免(社会)高専免(地歴)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	日本語教育学 . . .	担当教員 (連絡先等)	志水 俊広 092-802-5752 tshimizu@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 第二言語習得研究に関する文献を取り上げ、講読と議論を行う。第二言語習得研究の立場から見た日本語教育を主に対象とするが、必ずしも日本語教育に限定せず、この分野の研究が進んでいる英語教育・英語学習についても適宜触れていく。海外で出版された文献も活用できるように、英語の読解力があることが望ましい。			
授業の進め方 ゼミ方式	教育目標 第二言語習得研究の基礎知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 授業中の発表・レジュメや発言を評価する		
学習相談の仕方等 E-mail や電話で予約して研究室に	その他・主な使用言語 本講義は日本語・英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	第二言語習得、外国語学習、日本語教育	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	日本語対照言語学 . . . (日本語のジェンダー研究)	担当教員 (連絡先等)	松村 瑞子 092-802-5742 ymatsu@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 日本語対照言語学(談話分析、語用論、社会言語学、ジェンダー論、認知言語学)の何れかに焦点を絞って、対照言語学の方法論を学んでいく。			
授業の進め方 演習形式	教育目標 テキストを批判的に読み、議論を重ねることで、研究に必要な分析や考察の方法論、および論文の執筆方法、学会発表の仕方を学んでいく		
教科書及び参考図書 授業の中で適宜紹介する。	試験・成績評価の方法等 授業での口頭発表及びレポートを総合的に判断する。		
学習相談の仕方等 事前に E-mail 連絡すること	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	談話分析、語用論、ジェンダー論、社会言語学、認知言語学	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	日本語言語学 . . .	担当教員 (連絡先等)	山村 ひろみ 092-802-5755 yamamura@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 日本語の諸現象を観察しながら、日本語の言語学的見方とは何か、を考えていきたいと思えます。授業では、事前に用意された論文を批判的に読む訓練をすると同時に、レポート・論文作成時の基本的事項、発表時に必要なハンドアウト等の作成の仕方などを確認していこうと思えます。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 日本語学の基礎知識獲得と修論作成の「型」の習得		
教科書及び参考図書 最初の授業で指示します。	試験・成績評価の方法等 発表とレポート		
学習相談の仕方等 E-mail で連絡してください。	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本語学、文法、言語学	中専免(国語)高専免(国語)対象科目	

日本社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	日本語対照言語学 . . .	担当教員 (連絡先等)	西山 猛 092-802-5723 nishi@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期・後期	単位数	各2単位
履修条件	中国語を履修していること		
授業の概要・授業計画・学習目標 日本語と中国語の対照研究分野の論文を講読し、討論する。講読する論文での使用言語は日本語及び中国語。討論で使用する言語は日本語とする。			
授業の進め方 論文を講読し、討論する	教育目標 必要とする論文を自分の論文での先行研究をすることを目標とする		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 学期末にレポートを課す		
学習相談の仕方等 随時面接・E-mail 等で受け付ける	その他・主な使用言語 講読する論文での使用言語は日本語及び中国語。討論で使用する言語は日本語とする。		
キーワード(検索用)	中国語、日中対照		

授業科目 (講義題目)	多文化関係論 . . .	担当教員 (連絡先等)	松永 典子 092-802-5629 mnori@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 異文化間の接触、対人関係の構築に関わる諸問題について歴史的観点、教育の現場の議論も踏まえつつ検討する。 文献(研究論文)を単にまとめるだけでなく、関係する資料・先行研究を調べ、精査していくことにより、当該分野における、その研究の研究意義・研究の位置づけ・研究上の問題点等について指摘できるようになることを目標とする。			
授業の進め方 演習方式	教育目標 クリティカルな思考を育成し、物事を的確に分析・評価する能力を高める		
教科書及び参考図書 『論究日本事情』『対人関係構築のためのコミュニケーション入門』等。	試験・成績評価の方法等 発表、授業への参加度と貢献度をもとに総合的に判断する。		
学習相談の仕方等 授業の際、あるいはE-mail でご連絡ください	その他・主な使用言語 調査研究法論については、別途説明する		
キーワード(検索用)	異文化接触、異文化理解、受容、共生、質的研究、日本語教育史		中専免(国語)高専免(国語)対象科目

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	東アジア文化論 (中国文化論) . . .	担当教員 (連絡先等)	長谷 千代子 092-802-5614 cnagatani@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 現代中国文化について、前期は「宗教」、後期は「民族」の観点から講義する。漢族文化や社会主義の政治文化といった焦点化されやすいテーマとは敢えて異なる地点に立ち、中国文化をより複眼的に捉えることを試みる。			
授業の進め方 パワーポイントを用いて講義形式で行う。	教育目標 中国文化に対する多角的な視点を養う。		
教科書及び参考図書 授業中に指示する。	試験・成績評価の方法等 試験を主とし、平常点を加味して評価する。		
学習相談の仕方等 E-mail や面談など、適宜対応する。	その他・主な使用言語 本講義は日本語及び英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	中国 宗教 少数民族 文化	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	東アジア文化論 (中国古典文学) . . .	担当教員 (連絡先等)	東 英寿 092-802-5639 higashi@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 中国古典文学に関する文献(中国語)を取り上げ、講読と議論を行う。1回の授業で学術誌論文1本程度の分量を読み進むこととしたい。この分野の学術論文を読みこなすための能力と知識を修得することを目標とする。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 論文講読機会と中国文学関連知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言内容を評価する		
学習相談の仕方等 E-mail や面談など、適宜対応する	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	歐陽脩、宋代、古文運動、唐宋詩	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	アジア民族社会論 (東アジアの国際関係) . . .	担当教員 (連絡先等)	益尾 知佐子 092-802-5628 masuo@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 戦後から現在に至る東アジア国際関係について、主に政治・外交・安全保障といった側面から考察する。 授業にあたっては、毎回1、2本の論文(英語・日本語、場合によって中国語)を取り上げて担当者に報告をしてもらい、すべての参加者の間で議論を行う。また必要に応じて教員が問題の背景を説明する。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 東アジア国際政治研究の基礎構築		
教科書及び参考図書 初回の授業で参考論文を指定する	試験・成績評価の方法等 授業中の報告・討論の内容によって評価する		
学習相談の仕方等 授業中およびリクエストに応じて(事前連絡が必要)	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	東アジア、政治、外交、国際関係、日本、中国、韓国、北朝鮮	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	文化人類学 (理論と実践) 「M. タウシグの文化人類学」	担当教員 (連絡先等)	太田 好信 092-802-5610 yoshota@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . , 後期 - .		
履修条件	難解な英語を読解する能力と「根性」	単位数	各2単位
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>ゼミでは、米国在住の文化人類学者マイケル・タウシグが提唱する諸概念のいくつかについて理解を深める。どのような問題に関心を持ち、今日における彼の思考の重要性を確認しながら、難解ではあるかもしれないが、彼の文化人類学的思考を代表する初期から中期にかけてのテキストを選び、講読する。</p>			
授業の進め方	ディスカッションを中心にした演習形式	教育目標	具体的事例をとおして理論を学ぶこと
教科書及び参考図書	演習初日に配布するシラバスに記載	試験・成績評価の方法等	演習初日に配布するシラバスに記載
学習相談の仕方等	演習初日に配布するシラバスに記載	その他・主な使用言語	本講義は主として日本語により授業を行う(但し、discussion部分のみ)
キーワード(検索用)	M・タウシグ、W・ベンヤミン、ミメシス、シャーマニズム	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	国際社会論	担当教員 (連絡先等)	松井 康浩 092-802-5617 matsui@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件	特になし	単位数	各2単位
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>国際社会を理解し分析するための基本理論を学び、かつ、国際関係理論の近年の動向を把握することを目標として、当該分野にかかわる各種の著作や論文を読み進める。前期は、基礎的な国際関係理論の理解に努め、後期は、最新の理論動向を中心に検討する。</p>			
授業の進め方	適宜講義を交えつつ、演習形式で行う	教育目標	国際関係分析の理論的スキルを身につける
教科書及び参考図書	適宜、紹介する	試験・成績評価の方法等	出席、報告・討議の水準を総合的に評価
学習相談の仕方等	随時、研究室で受け付ける	その他・主な使用言語	本講義は主として日本語により授業をおこなう
キーワード(検索用)	国際社会、国際関係、理論	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	国際関係論 (中東・イスラム地域研究)	担当教員 (連絡先等)	山尾 大 092-802-5616 daiyamao@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>中東政治の歴史、および中東政治学の必読文献を中心に輪読することで、中東政治の基本的な構造と議論を学ぶことを目的とする。また、中東政治分析において重要なファクターとなるイスラム主義運動についても、分析を行う。</p>			
授業の進め方	ゼミ形式 論文の輪読	教育目標	中東政治の基礎、イスラム主義運動の分析スキルを身につける
教科書及び参考図書	適宜、紹介する	試験・成績評価の方法等	出席、報告、討議などによって評価
学習相談の仕方等	E-mail等で予定調整したうえで、研究室において面談	その他・主な使用言語	本講義は主として日本語により授業を行う。(場合により英語を使用することがある。)
キーワード(検索用)	中東政治 イスラム 地域研究	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	ヨーロッパ社会論 (ドイツ啓蒙主義) . . .	担当教員 (連絡先等)	嶋田 洋一郎 092-802-5641 shimada@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	ドイツ語の文献も使用するが、邦訳を用意するので、ドイツ語の知識は特に要求しない		
授業の概要・授業計画・学習目標 「民謡」(Volkslied) というドイツ語を初めて使用したとされるドイツの思想家ヘルダーを扱う。ただしヘルダーは Volkslied を Popular Song のドイツ語訳として考えており、したがってヘルダーの考える「民謡」はかなり幅の広いものである。 本演習ではこの「民謡」に関するヘルダーの著作を、近代ドイツの国民意識の発生との関連において読むことにしたい。			
授業の進め方 テキストの精読と討論	教育目標 啓蒙主義期におけるドイツ人の国民意識に関する重要概念の理解を目指す		
教科書及び参考図書 プリント配布	試験・成績評価の方法等 文献の読解力と議論の内容によって評価する		
学習相談の仕方等 E-mail で連絡を	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	啓蒙主義、文化、民謡		中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目

授業科目 (講義題目)	文化人類学 (ラテンアメリカの文化と社会) . . .	担当教員 (連絡先等)	古谷 嘉章 092-802-5620 furuya@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	英語の論文を読めること		
授業の概要・授業計画・学習目標 英語(あるいは日本語)の人類学関係の著作・論文を読むことによって、人類学的な思考プロセスを体験する。本年度前期は、英語の入門的テキストを使用するので専門外の学生も歓迎する。詳細は、古谷演習の website (URL : http://www.scs.kyushu-u.ac.jp/~furuya/furuyazemi1.html) を事前(少なくとも3月初旬)に参照してください。 (尚、このゼミは題目と裏腹に、ラテンアメリカのことを勉強するわけではありません)			
授業の進め方 テキストの輪読 担当者がレジュメを作成	教育目標 人類学的思考を体得すること		
教科書及び参考図書 開講前あるいは開講時に指示する	試験・成績評価の方法等 ゼミにおけるパフォーマンス		
学習相談の仕方等 ゼミ時間以外の場合は事前の appointments を要する	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	文化人類学、人類学的な思考		中専免(社会)高専免(公民)対象科目

授業科目 (講義題目)	現代思想論 . . . 「啓蒙と保守の日本思想」	担当教員 (連絡先等)	楠木 政彦 092-802-5623 kaburagi@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 近現代における日本思想を代表するテキスト(毎回30頁ほど)を読み進める。各学期、3名ほどの思想家を選ぶ予定。(前期は啓蒙派、後期は保守派を計画している。)授業は毎回、全員によるテキスト読解の成果発表と討論によって進める。日本思想の知識を身に着けると共に、日本語による討論技術の向上が目標である。			
授業の進め方 受講生による報告、教員による解説、参加者全員による討論。	教育目標 近現代思想に関する基本的な知識、ならびに思想研究における研究方法を身につける。		
教科書及び参考図書 テキストは掲示板にて指示する。	試験・成績評価の方法等 ゼミの報告・討論への貢献によって評価する。		
学習相談の仕方等 E-mail 等で事前に予定を調整した上で研究室において面談する。	その他・主な使用言語 ゼミ参加希望者は初回に必ず出席すること。欠席する場合には E-mail でその旨連絡すること。 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	日本思想、政治理論、民主主義、自由		中専免(社会)高専免(公民)対象科目

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	近代思想論 . . .	担当教員 (連絡先等)	根井 豊 092-802-5622 ynei@scs.kyushu-u.sc.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	フランス語既習得		
授業の概要・授業計画・学習目標 フランス語の原典講読を通して、近代或いは現代の哲学の諸問題を考察していく。テキストとして何を選ぶかは、受講生と相談して決める。参考までに、昨年度は、デカルトの『情念論』の講読を通して、知性や意志が関わる領域とは異なる、情緒や感情の領域の問題について受講生と議論をしながら考察を進めた。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 哲学的テキストが独力で読めるようになること		
教科書及び参考図書 最初の授業のときに相談の上決める	試験・成績評価の方法等 読解の正確さ、および議論の内容を評価する		
学習相談の仕方等 随時、面談或いはE-mailで	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	哲学、近代、フランス、デカルト	中専免(社会)高専免(公民)対象科目	

授業科目 (講義題目)	比較思想論 . . . 「道徳的实在論の再検討」	担当教員 (連絡先等)	新島 龍美 092-802-5615 niijima@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	向学の志		
授業の概要・授業計画・学習目標 道徳的实在論に関係する文献を取り上げ、講読と議論を行なう。題材については学生と相談して決定する。哲学の学術論文を読みこなすための能力と知識の修得を目指す。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 論文講読機会と哲学関連知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言の内容で評価する		
学習相談の仕方等 授業終了後など	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	道徳性、实在論、反实在論	中専免(社会)高専免(公民)対象科目	

授業科目 (講義題目)	生物圏環境学 (群集レベルの環境生物学) . . .	担当教員 (連絡先等)	阿部 芳久 092-802-5648 y_abe@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 群集の構造と機能について学習する。群集や個体群レベルの生態学ならびに群集の構成要素を認識するため系統分類学に関連した文献を読むことにより授業を進め、これら環境関連の学問への理解を深めることが目標である。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 環境生物学への理解を深める		
教科書及び参考図書 適宜紹介する	試験・成績評価の方法等 総合評価		
学習相談の仕方等 予約をした上で研究室へ	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	群集生態学、系統分類学	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	生物圏環境学 (種レベルの環境生物学) . . .	担当教員 (連絡先等)	荒谷 邦雄 092-802-5647 araya.kunio.927@m.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 種レベルの生物多様性に関して、1)実態把握(分類学、系統学) 2)創出機構の解明(進化学、生物地理学) 3)維持機構の解明(行動学、生態学) 4)保全(保全生物学)の4つの観点にたった総合的なアプローチを試み、環境と生物種の関わりについて理解を深める。具体的な題材として主に昆虫を例に講義を進める。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 環境と生物種の関わりについての理解		
教科書及び参考図書 適宜紹介する	試験・成績評価の方法等 総合的に判断する		
学習相談の仕方等 随時受け付ける	その他・主な使用言語 本講義は日本語及び英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	生物多様性、分類、系統、進化、生物地理、行動、生態、保全、昆虫	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

授業科目 (講義題目)	岩石圏環境学 (環境鉱物学) . . .	担当教員 (連絡先等)	桑原 義博 092-802-5654 ykuwa@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 地球表層で起こっている「鉱物-水-大気-生命相互作用」について、それらに関する英文テキスト、論文を輪読あるいは発表し、「鉱物-水-大気-生命相互作用」に関する基礎知識を深めるとともに、英文の読解と表現、およびプレゼンテーション能力を身につける。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 環境鉱物学の基礎知識の習得 研究発表技術の習得		
教科書及び参考図書 別途指示する	試験・成績評価の方法等 出席・発表および質問等で総合評価する		
学習相談の仕方等 随時相談を受け付ける	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	地球自然環境学、鉱物学、岩石圏物質科学	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

授業科目 (講義題目)	岩石圏環境学 (堆積環境論) . . .	担当教員 (連絡先等)	狩野 彰宏 092-802-5655 kano@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 地球史を通じた生物進化と地球環境の関連性を理解し、研究課題の立案・遂行能力を身につけるために、英語の論文や教科書を輪読する。また、実践的な知識を習得するための野外実習を行う。			
授業の進め方 論文や教科書の輪読と野外実習	教育目標 基礎的知識の体系化		
教科書及び参考図書 適宜作成する	試験・成績評価の方法等 出席とレポート		
学習相談の仕方等 内容についての質問を適宜対応する	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	生物進化・地球環境・微生物・安定同位体	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	岩石圏環境学 (岩石圏物質科学)	担当教員 (連絡先等)	石田 清隆 092-802-5653 kiyota@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件			
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>岩石圏は主に硅素と酸素の四面体を骨格とした結晶(珪酸塩鉱物)からなるので、まず、結晶学の基礎を講義する。内容は、結晶の対称性、点群、空間群、逆格子、X線、電子線、中性子線回折法による結晶構造解析の原理。主要造岩鉱物の結晶構造は地球深部の温度圧力条件に応じて変化する。カンラン石、角閃石、雲母等を取り上げてそれらの結晶化学を講義する。鉱物合成法と結晶構造解析法の講義と実験。研究テーマに沿った論文紹介や、ゼミ形式による発表および討論。</p>			
授業の進め方 . は講義、 . は講義と実験、 . はゼミ形式	教育目標 結晶化学の基礎を習得し、応用してデータ解析ができるようになること		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言内容で評価する		
学習相談の仕方等 随時受け付ける 遠慮不要	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	珪酸塩鉱物、結晶構造、X線リートベルト解析、角閃石、赤外分光分析	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

授業科目 (講義題目)	環境基礎論	担当教員 (連絡先等)	大野 正夫 092-802-5657 mohno@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>地球の環境(地磁気・地球回転等も含む)の変動に関連する、地球物理学、地球化学、もしくは天文学の分野の講義および文献(主に英文)の講読。内容については最初の講義の際に相談する。この分野の学術論文を読みこなすための能力と知識を修得することを目標とする。</p>			
授業の進め方 ゼミ形式 適宜、実習も行う	教育目標 地球環境の研究について理解を深める		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 出席、発表、およびレポートで評価する		
学習相談の仕方等 居室にて適宜対応する	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	地球物理、地球化学、環境、地磁気	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

授業科目 (講義題目)	環境物質論	担当教員 (連絡先等)	北 逸郎 092-802-5661 kita@scs.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>人間を取り巻く環境物質のグローバルな分布やその環境問題を、地球化学の知識に基づき、大気圏を含めた地球内の元素循環の一環として捉えることの出来る研究者と科学技術者の養成を目的として、最近のトピックスを含めた次の授業と演習等を行う。</p> <p>1) 地球化学や環境化学に基づく環境物質に関する講義 2) 授業内容に関係した演習や小テスト</p>			
授業の進め方 講義および授業内容に関係した演習や確認問題およびレポートによって地球・環境化学への理解を深めてゆく	教育目標 環境物質の起源と分布や地球温暖化現象について、正しく判断し、論じることができる能力を身につけること		
教科書及び参考図書 関係論文や参考書等は、授業毎に配布・紹介する	試験・成績評価の方法等 出席点と小テスト・演習およびレポートの点数を総合的に評価する		
学習相談の仕方等 毎回の授業終了後に、相談を受け付ける。その他・主な使用言語、随時連絡があればその都度対応する	その他・主な使用言語 演習や小テストに必要なことがあるので、関数付き電卓を携帯すること。本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	環境物質、噴火・地震現象、元素循環、資源物質、温暖化現象	中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	比較国家論 . . .	担当教員 (連絡先等)	岡崎 晴輝 092-642-4447 aktiv@aqua.ocn.ne.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	政治学を専攻していること。		
授業の概要・授業計画・学習目標 前期：「政治改革」期の一次史料を読む。 後期：現代日本政治に関する英語論文を読む。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 一、英語論文の読解力を高めること 一、研究の方法論を身につけること		
教科書及び参考図書 特になし	試験・成績評価の方法等 出席とレジュメ提出で評価する		
学習相談の仕方等 E-mail で appointment をとる	その他・主な使用言語 箱崎で開講する予定。本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	政治	中専免(社会)高専免(公民)対象科目	

授業科目 (講義題目)	政治学の理論 (政治社会論) . . .	担当教員 (連絡先等)	大河原 伸夫 092-802-3184 okawara@law.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 政治学の重要な英語文献を取り上げ、翻訳を行いつつ内容についてのディスカッションを行う。(毎回、各自が担当部分を翻訳する。)何を取り上げるかについては、受講者と協議して決める。この分野の学術論文を読みこなすための能力と知識を修得することを目標とする。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 論文講読機会と政治学関連知識の提供		
教科書及び参考図書 授業中に適宜紹介する	試験・成績評価の方法等 参加		
学習相談の仕方等 E-mail 等で appointment をとる	その他・主な使用言語 授業は箱崎地区で行う。本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	政治、政治学、社会科学、理論	中専免(社会)高専免(公民)対象科目	

授業科目 (講義題目)	森林環境保全学 . . .	担当教員 (連絡先等)	
開講学期		単位数	
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標			
授業の進め方	教育目標		
教科書及び参考図書	試験・成績評価の方法等		
学習相談の仕方等	その他・主な使用言語		
キーワード(検索用)		中専免(理科)高専免(理科)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	地水環境保全学	担当教員 (連絡先等)	黒澤 靖 092-642-3071 kurosawa@agr.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 前期は、地下水の水質汚染（主にヒ素汚染、無機能窒素による汚染）や土壌保全に関して講義を行い、後期は地水環境保全学に関する文献（主に英語）を取り上げ、講読と議論を行なう。地水環境保全学に関する高度な知識を習得し、かつこの分野の学術論文が読みこなせるようになることを目標とする。			
授業の進め方 講義形式（前期）、ゼミ形式（後期）	教育目標 地水環境保全学に関する高度な知識を習得し、かつこの分野の学術論文が読みこなせるようにする		
教科書及び参考図書 随時指示する	試験・成績評価の方法等 総合評価による		
学習相談の仕方等 E-mail 等で事前に予定を調整した上で研究室において面談	その他・主な使用言語 本講義は日本語及び英語により授業を行う。		
キーワード（検索用）	水質汚染 土壌浸食 文献購読	中専免（理科）高専免（理科）対象科目	

授業科目 (講義題目)	社会言語論	担当教員 (連絡先等)	小谷 耕二 092-802-5741 kotanikj@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 アメリカ文学作品の読解をとおして、社会と言語のかかわりを多面的に考察する。今年度は Faulkner の代表作のひとつ <i>Go Down, Moses</i> を取りあげる。毎回、20 頁前後進む予定。			
授業の進め方 輪読と発表・討論	教育目標 テキストを語学的に正確に読むこと 文学的観点(人物造型、作品構造、言語表現技法、文脈など)からテキストのポイントを自分なりに押さえ、それを明確に表現すること 作品の背景となる歴史的、社会的、文化的事象などについての基礎知識を習得すること		
教科書及び参考図書 William Faulkner, <i>Go Down, Moses</i> (Vintage International)	試験・成績評価の方法等 平常点（および、レポートを課す場合もある）		
学習相談の仕方等 随時、受け付ける	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード（検索用）	アメリカ文学、アメリカ社会・文化、フォークナー	中専免（英語）高専免（英語）対象科目	

授業科目 (講義題目)	言語情報処理論	担当教員 (連絡先等)	李 相穆 092-802-5735 sangmok@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . 後期 - .		
履修条件		単位数	各2単位
授業の概要・授業計画・学習目標 言語研究のための言語データの収集及び分析方法を習得することを目標とする。具体的にはアンケート・ウェブページ・ウェブフォームからの言語データ収集、分析、統計処理などの手法について講義を行う。			
授業の進め方 講義方式	教育目標 言語情報処理能力を育成する		
教科書及び参考図書 講義中に適宜指示する	試験・成績評価の方法等 報告・発言の内容を評価する		
学習相談の仕方等 E-mail や研究室訪問	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード（検索用）		中専免（英語）高専免（英語）対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	比較言語文化論	担当教員 (連絡先等)	高橋 勤 092-802-5751 tsutomu@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 「野性の文化」をテーマとして、ヘンリー・ソロ या ゲーリー・スナイダーのテキストを輪読する。人類学的なアプローチとしてではなく、より文学的に、自然と文化の根源的な関係について考える。			
授業の進め方 授業中に説明する	教育目標		
教科書及び参考図書 Henry David Thoreau, "Walking" Gary Snyder. <i>The Practice of the Wild</i> . New York: North Point Press, 1990. David Abram. <i>The Spell of the Sensuous</i> . New York: Vintage Book, 1996.	試験・成績評価の方法等 報告 50% 期末レポート 50%		
学習相談の仕方等 授業中に説明する	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)		中専免(英語)高専免(英語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	言語コミュニケーション論	担当教員 (連絡先等)	井上 奈良彦 092-802-5747 inouen@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 言語とコミュニケーションに関連する文献を読み研究を概観する。また、スピーチやディベートの実践練習や指導方法の検討を行う場合もある。			
授業の進め方 詳細は1回目の授業で説明する	教育目標 言語コミュニケーションの研究概要を理解する		
教科書及び参考図書 未定	試験・成績評価の方法等 授業での発表や提出課題による		
学習相談の仕方等 E-mail およびオフィスアワー	その他・主な使用言語 本講義は日本語・英語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	言語、コミュニケーション、スピーチ、ディベート	中専免(英語)高専免(英語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	アジア言語文化論 (現代中国言語文化論)	担当教員 (連絡先等)	秋吉 收 092-802-5727 shu-aki@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . .	単位数	各2単位
履修条件	日中両語に、ある程度堪能なこと		
授業の概要・授業計画・学習目標 現代中国の文献を精読することを通して、中国近現代における歴史や文学の諸問題について考察する。日本と中国を双方から照射するために、教材として、日中比較文学、魯迅等に関する文献を取り上げていく。			
授業の進め方 中国語文献精読	教育目標 日中両語能力向上と日中比較文化関連知識習得		
教科書及び参考図書 授業の上で指示する	試験・成績評価の方法等 授業への参加状況による		
学習相談の仕方等 授業前後に直接行かうか、E-mailによる	その他・主な使用言語 本講義は日本語・中国語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	中国近現代文学、魯迅	中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	アジア言語文化論 (東アジア比較言語文化論) . . .	担当教員 (連絡先等)	松原 孝俊 092-642-4276 matsubara.takatoshi.414@m.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	日韓対照言語学に関心を持つ方が望ましい		
授業の概要・授業計画・学習目標 (1) 植民地朝鮮半島研究：崔承喜 + 植民地文化空間 + 消費文化 + メディアなどを多様な観点から論じます。 (2) An introduction to some of the current issues in modern Korean history through selected readings. (3) 国内外で発表された語彙論を取り扱った各種論文を説明しながら、似ていながら異なる日韓両言語についての対照研究手法を学ぶ。			
授業の進め方 講義形式またはゼミ形式	教育目標 分析方法を学び、さらには作業仮説の設定 韓国語教授法研究者の養成		
教科書及び参考図書 授業中に適宜指示	試験・成績評価の方法等 レポート		
学習相談の仕方等 まず、E mail で appointment を	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)		中専免(地歴)高専免(地歴)対象科目	

授業科目 (講義題目)	英米言語文化論	担当教員 (連絡先等)	太田 一昭 092-802-5726 kazu@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	特になし		
授業の概要・授業計画・学習目標 カズオ・イシグロの <i>The Remains of the Day</i> を読みます。イギリスの貴族に仕えるパトラー(執事)を描いた、ブッカー賞受賞作品。これを原典で味読します。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 現代イギリス小説の理解		
教科書及び参考図書 <i>The Remains of the Day</i> (Faber & Faber)	試験・成績評価の方法等 発表と質疑の内容によって評価します		
学習相談の仕方等 研究室(比言文棟 217号)面談、E-mail	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	英文学、現代イギリス小説、イシグロ、ブッカー賞	中専免(英語)高専免(英語)対象科目	

授業科目 (講義題目)	ヨーロッパ言語文化論 (フランス言語文化論)	担当教員 (連絡先等)	阿尾 安泰 092-802-5725 ao@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件			
授業の概要・授業計画・学習目標 フランスの第2次世界大戦後の思想、特に構造主義以降の思想に関する文献を取り上げ、講読と議論を行う。現代思考がいかなる条件のもとに成立したのか、そしてそれがどのような方向を志向しているのか考えていく。			
授業の進め方 ゼミ形式	教育目標 論文講読機会と現代思想に関する問題点の整理		
教科書及び参考図書 授業中に指示する	試験・成績評価の方法等 報告と発言の内容を総合的に評価する。場合によってはレポートを課す		
学習相談の仕方等 研究室訪問や E-mail で行う	その他・主な使用言語 本講義は主として日本語により授業を行う。		
キーワード(検索用)	フランス現代思想、フーコー、権力、知、真理	中専免(英語)高専免(英語)対象科目	

国際社会文化専攻

授業科目 (講義題目)	ヨーロッパ言語文化論 (ドイツ言語文化論) . . .	担当教員 (連絡先等)	福元 圭太 092-802-5734 fukumoto@flc.kyushu-u.ac.jp
開講学期	前期 - . . . 後期 - . . .	単位数	各2単位
履修条件	ドイツ語を読めること		
<p>授業の概要・授業計画・学習目標</p> <p>主に世紀転換期(19世紀から20世紀への)から第一次世界大戦、両戦間期にいたるまでのドイツ語圏における思想・文学特にトーマス・マンのテキストから、いくつかの重要なテキストを取り上げ、講読と議論を行う。合理性と非合理性がせめぎ合う様相を観察し、ドイツ的なるものの一側面を照射してみたい。</p>			
授業の進め方 ゼミ形式		教育目標	テキスト読解能力の涵養と当該領域の知識の深化
教科書及び参考図書 授業中に指示する		試験・成績評価の方法等	報告と発言の内容を総合的に評価する。場合によってはレポートを課す
学習相談の仕方等 研究室での面談、E-mailによる		その他・主な使用言語	本講義は主として日本語により授業を行う。
キーワード(検索用)	トーマス・マン、ホフマンスタール、言語危機、表現主義、プレファシズム		